

春から新しい生活へ 小中学校入学式



教室に向かう新入生（西伯小）



誓いの言葉を述べる新入生代表（南部中）

4月10日（月）、町内の小学校3校、中学校2校で入学式が行われました。

小学校

今年の新一年生は93名（西伯小学校64名、会見小学校28名、会見第二小学校1名）

西伯小学校では、新入生がステージ上に整列し、名前を呼ばれると、大きな声で返事をして、一人ひとりが丸山寛校長と握手を交わ

して着席しました。上級生の歓迎のことばに新入生が元気に返事を返していました。

中学校

新中学一年生は92名（法勝寺中学校52名、南部中学校40名）

南部中学校では、校長が卒業式の時とは見違えるように大人びた新入生達に式辞を述べられ、新入生代表が誓いの言葉を述べました。

朝鍋ダム多目的広場・公園 利用開始

合併前の平成15年から検討され、平成16年から整備が開始されていた朝鍋ダム親水公園と多目的広場が、芝の養生も終わり今年から利用が開始されました。

利用には予約が必要なく、空いていれば誰でも利用できます。取材中には多目的広場で、地元の方々がグランドゴルフの練習中でした。

草刈やトイレの掃除などは地元の方が中心となって行っており、練習中にも参加者の皆さんが、草取りをされるなど、広場をきれいに保つよう努めておられました。



グランドゴルフの練習中

地域自治組織検討委員会答申

以前から懇談会等が行われていた地域自治組織づくりについて、町とは違った視点からの検討を目的に、昨年11月27日に設立された地域自治組織検討委員会（委員36名）から、約5ヶ月にわたって話し合いを行い、作成された答申書が、4月12日（水）、坂本町長に渡されました。

答申では、自治区割りについては旧村を基準にし、上長田地区と東長田地区を1自治区とする合計7自治区の提案が成され、また、地域自治区により町づくりにあたっては、地域住民に対し十分な理解を求めながら慎重に行うよう意見されました。



答申を手渡す遠藤会長と岡田副会長

災害に備えて

4月21日(土)、南部町と高知県佐川町が災害時における相互応援協定に調印しました。

この協定は、災害が起こった場合、被災した町に一方の町が物資の提供や職員派遣などの支援を行うものです。

佐川町は、高知県の中西部の盆地の町で人口は約1万5千人。南部町との交流は、合併前の平成8年さくらサミットをきっかけに行われていました。

同時に災害が発生する可能性が低い遠隔地との協定は、いざという時に心強いものとなります。



握手をする両町長、議長

自分をカエル 見かたをカエル

「人権が大黒柱のまちづくり」をより一層推進するため、町民生活課 人権施策室が「人権啓発ブック」と「人権啓発標語ステッカー」を作成しました。

これらは5月18日(木)の区長文書で全町に配布される予定です。

人権意識の向上を役立てていただきますようお願いください。

※ステッカーは玄関など目につくところに貼ってください。

【お問い合わせ先】

町民生活課人権施策室

(TEL 64・3782)



啓発ブックとステッカー

新しく民生児童委員に就任

民生児童委員に、



奈喜良 一乃さん

(担当 法勝寺1~2、清水、橘)



内田 茂さん

(担当 三崎、寺内)



小川 優さん

(担当 福里)

が就任され、構成労働大臣の委嘱状が交付されました。地域のみなさまのために、よろしく願います。

総務大臣表彰を受賞



赤井 進さん

平成17年9月11日に行われた、第44回衆議院議員総選挙において、選挙事務の管理執行が適正円滑だった、または明るい選挙を積極的に推進するなど、顕著な功績をあげた団体・個人に対し、総務大臣から表彰が行われ、南部町選挙管理委員会委員長の赤井進さん(朝金)が表彰を受けられました。

赤井さんは、平成16年11月から選挙管理委員会委員長に就任され、合併前を含めると、約14年余り選挙事務の適正執行に取り組んでこられました。